

【特待生型】出願から合格まで

AO入試(特待生型)

本学の建学の精神やアドミッション・ポリシーを深く理解し、本学を専願としている志願者を対象としており、成績優秀な合格者は特待生として選出され、下表の特典が授与されます。

この入試方式の合格者は入学後に、演奏面・学習面・生活面ともに周囲の手本となることが期待されます。そこで、出願書類や面接では演奏、学習に対する意欲や短期大学部で学ぶ目的を積極的にアピールし、また実技等の試験ではこれまでの練習や学習の成果をきちんと発揮することが求められます。

なお、このAO入試(特待生型)で、特待生に選出されなくても、AO入試の合格水準を満たしていると判定された場合は、AO入試での合格となります。

■特待生の内容

種類	AO入試 【特待生型】	指定校 推薦入試	特待生の内容
特待生S	若干名		1年次の授業料年額免除
特待生A			1年次の授業料年額の半額免除
特待生B			1年次の授業料30万円免除
特待生C	評価の範囲内		入学金免除

特待生Aの場合、後期分の授業料を減免します。

特待生Bの場合、後期分の授業料から30万円を減免します。

特待生Cの場合でも、入学手続き時には一旦入学金を納付いただき、入学後に減免を実施します。

この減免を受けた者が次のいずれかに該当した場合は、減免取り消しとなり、入学年度に遡及し免除された授業料等を返金していただきます。

- ・学業成績不良
- ・素行不良
- ・遅刻・欠席が多い
- ・休学または退学

出願資格

10ページに記載した出願資格要件に加え、本学の教育方針に賛同し、本学を専願とする方が出願できます。

入試日程詳細

出願期間 (消印有効)	入学試験日	合格発表日 (簡易書留にて郵送)	入学手続き期間 (必着)
2019年 10月1日(火) ? 2019年 10月9日(水)	2019年 10月20日(日)	2019年 10月29日(火)	2019年 10月30日(水) ? 2019年 11月12日(火)

AO入試(第1回)合格者で入学手続きを済ませた方は、合格資格を保持したままAO入試(特待生型)に出願することができます(検定料無料)。出願の際は以下の点に注意してください。

- AO入試(第1回)合格による、AO入試(特待生型)での免除科目はありません。
- 検定料は無料です。出願時には検定料を納入する必要はありません。
- 出願書類を揃えて出願してください。

1 出願手続き

出願書類に必要事項を記入し、出願期間内に
出願手続きを行ってください。
試験実施日の1週間前を目処に、
受験票を速達で郵送します。

2 受験票送付

入学試験日の集合時刻については、
お送りする受験票に記載します。

3 入学試験

下記の試験科目を実施します。

- 専門実技…課題曲は21ページを参照
- 音楽理論…楽典(所要時間50分)
- ソルフエージュ…聴音：8小節程度の単旋律1曲
- 面接

すべての試験科目の結果で合否を判定します。

4 合格発表

合格発表日に合否結果を簡易書留で郵送します。

また合格者には入学手続き書類を併せてお送りします。

なお、特待生の対象とはならないが、合格水準に達している場合については「AO入試合格」とします。また合格水準に至らず、不合格になった場合にも、次のAO入試や選抜入試を受験することができます。

5 入学手続き

入学金等の納入や書類の提出が必要です。入学手続き期間内に手続きを行ってください。詳細については合否結果とともにお知らせします。

AO入試 予備診断の課題曲

ピアノ専門	<p>自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 繰り返しは省略し、暗譜で演奏すること。</p>
器楽専門	<p>自由曲(1曲)(練習曲含む)</p> <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①楽譜を見てもよい。 ②伴奏は付けない。 ③トロンボーン実技の代りとして、バストロンボーンで受験することができる。 ④打楽器は、小太鼓またはマリンバのいずれかで演奏すること。なお小太鼓については志願者自身の楽器を持参すること。 ⑤オルガン実技、チェンバロ実技の代りとして、ピアノ専門実技〔P.33記載の課題曲A(ピアノ専門)〕で受験することができる。 ⑥ヴィオラ・ダ・ガンバ実技の代りとして、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスで受験することができる。またリュート実技の代りとして、ギターで受験することができる。 <p>その場合、演奏される楽器名を出願書類の「器楽専門(専門楽器/受験楽器)」欄に記入すること。</p>
声乐専門	<p>自由曲(1曲)</p> <p>【注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歌詞は原語とし、暗譜で歌うこと。 ②伴奏楽譜2部を製本し、エントリーシートに添えて提出すること。 <p>※伴奏譜の作り方は44ページ参照。</p>

AO入試(特待生型) 専門実技試験の課題曲

ピアノ専門	<p>自由曲(1曲)</p> <p>【注意】 繰り返しは省略し、暗譜で演奏すること。</p>
器楽専門	<p>ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ギター、ハープ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、打楽器</p> <p>自由曲(1曲)(練習曲含む、伴奏なし)</p> <p>【注意】</p> <p>①楽譜を見てもよい。</p> <p>②トロンボーン実技の代りとして、バストロンボーンで受験することができる。</p> <p>③打楽器は、小太鼓またはマリンバのいずれかで受験すること。どちらの楽器で受験するかを、出願書類の「器楽専門(専攻楽器/受験楽器)」欄に記入すること。また小太鼓については、志願者自身の楽器を持参すること。</p> <hr/> <p>オルガン、チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リュート、リコーダー</p> <p>自由曲(1曲)</p> <p>【注意】</p> <p>①上記いずれも、代替楽器での受験は認めない。</p> <p>②上記いずれも、楽譜を見てもよい。伴奏なし。</p>
声乐専門	<p>自由曲(1曲)</p> <p>【注意】</p> <p>①歌詞は原語とし、暗譜で歌うこと。</p> <p>②伴奏楽譜2部を製本し、出願書類に添えて提出すること。</p> <p>③伴奏者は本学で用意する。</p> <p>※伴奏譜の作り方は44ページ参照。</p>